



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社レントラックス
 コード番号 6045 URL <http://renttracks.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
 (氏名) 金子 英司
 (氏名) 梶尾 幸介
 TEL 03-3878-4159

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,270	16.0	225	12.0	226	11.8	151	7.2
29年3月期第2四半期	3,681	24.1	256	8.2	256	13.9	163	17.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 147百万円 (9.0%) 29年3月期第2四半期 161百万円 (16.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	19.44	19.13
29年3月期第2四半期	21.03	20.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,754	1,779	64.4
29年3月期	2,642	1,671	63.2

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 1,774百万円 29年3月期 1,671百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		6.00	6.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,067	19.5	625	12.3	625	12.3	397	12.3	51.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 株式会社ユニバーサルメ
ディアジャパン、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	7,891,800 株	29年3月期	7,822,200 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	60,105 株	29年3月期	60,105 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	7,798,606 株	29年3月期2Q	7,765,374 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日）におけるわが国の経済は、雇用情勢や企業業績の改善等、回復基調が継続しているものの、海外における米トランプ政権の運営に対する不安等の懸念材料により、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、株式会社電通の「2016年日本の広告費」によれば、2016年の日本の総広告費は6兆2,880億円（前年比101.9%）、その中でも当社グループが属するインターネット広告市場においては、インターネット広告媒体費が1兆378億円（前年比112.9%）と堅調に成長を続けております。

当社グループでは、主力の成果報酬型広告サービス事業において、金融案件及び自動車買取案件の広告主様への注力に加え、引越、エステ、転職求人、土業、不動産関連などの各ジャンルにおける広告主様、その他の新規分野の広告主様に対して営業の強化を図り、また広告掲載媒体運営者様に対して、より一層の連携強化に努めており、成果報酬獲得件数が増加を続けております。

2017年3月に株式会社GROWTH POWERを設立し、中古建設機械等の売買マッチングサイトの運営事業（販売仲介事業）を開始し、2017年5月にタイ（バンコク）、インドネシア（ジャカルタ）、中国（大連）に子会社を設立し、既存事業の拡充を図るとともに、インドネシアにおいてはECサイトの運営事業も開始しております。また2017年8月には、株式会社ユニバーサルメディアジャパンを設立し、インターネットウェブサイト等各種メディアの企画及び運営事業を開始しました。これら新規子会社の起ち上げに伴い、販管費等が増加しておりますが、グループ全体の売上高増加に寄与すべく営業活動の推進を継続して参ります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,270,371千円（前年同四半期比116.0%）、営業利益225,590千円（同88.0%）、経常利益226,156千円（同88.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は151,599千円（同92.8%）となりました。

セグメント別の売上高は、成果報酬型広告サービス事業が3,984,494千円（同115.1%）、検索連動型広告代行事業が267,137千円（同127.6%）、その他の事業が18,739千円（同166.5%）となっております。また、セグメント利益は、成果報酬型広告サービス事業が488,531千円（同97.7%）、検索連動型広告代行事業が37,767千円（同126.7%）、その他の事業が18,435千円（同270.1%）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は2,754,068千円となり、前連結会計年度末と比較して111,579千円の増加となりました。これは、現金及び預金が34,798千円、売掛金が89,368千円増加したこと、のれんが11,934千円減少したことが主な要因であります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は974,684千円となり、前連結会計年度末と比較して3,284千円の増加となりました。これは、買掛金が53,139千円増加したこと、未払法人税等が32,163千円減少したことが主な要因であります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は1,779,384千円となり、前連結会計年度末と比較して108,294千円の増加となりました。これは、利益剰余金が105,027千円増加したことが主な要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」といいます。)は、前連結会計年度末に比べ34,453千円増加し、1,482,549千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は83,932千円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益(226,156千円)を計上し、仕入債務の増加(53,139千円)等による増額があった一方、売上債権の増加(89,368千円)による減額、法人税等の支払(107,840千円)等があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動に使用した資金は8,657千円となりました。これは有形固定資産の取得による支出(2,020千円)、無形固定資産の取得による支出(4,063千円)、敷金及び保証金の差入による支出(2,274千円)及び定期預金の預入による支出(299千円)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動に使用した資金は38,571千円となりました。これは株式の発行による収入(1,020千円)、非支配株主からの払込みによる収入(6,772千円)及び配当金の支払額(46,364千円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予測に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,457,597	1,492,396
売掛金	900,026	989,395
原材料及び貯蔵品	—	291
前払費用	105,598	96,011
繰延税金資産	10,685	10,579
その他	7,879	15,938
貸倒引当金	△1,814	△2,153
流動資産合計	2,479,972	2,602,459
固定資産		
有形固定資産	314	2,243
無形固定資産		
のれん	92,021	80,086
その他	25,670	27,774
無形固定資産合計	117,691	107,861
投資その他の資産		
繰延税金資産	39,853	34,526
その他	24,717	26,738
貸倒引当金	△20,059	△19,759
投資その他の資産合計	44,510	41,504
固定資産合計	162,516	151,609
資産合計	2,642,489	2,754,068
負債の部		
流動負債		
買掛金	705,298	758,437
未払法人税等	119,739	87,575
賞与引当金	15,000	17,100
その他	131,362	111,570
流動負債合計	971,399	974,684
負債合計	971,399	974,684
純資産の部		
株主資本		
資本金	438,968	439,478
資本剰余金	344,968	345,478
利益剰余金	921,400	1,026,427
自己株式	△34,726	△34,726
株主資本合計	1,670,610	1,776,657
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	479	△1,894
その他の包括利益累計額合計	479	△1,894
非支配株主持分	—	4,621
純資産合計	1,671,089	1,779,384
負債純資産合計	2,642,489	2,754,068

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	3,681,056	4,270,371
売上原価	3,144,226	3,725,637
売上総利益	536,829	544,734
販売費及び一般管理費	280,481	319,143
営業利益	256,347	225,590
営業外収益		
受取利息	212	138
償却債権取立益	—	457
その他	—	41
営業外収益合計	212	637
営業外費用		
支払利息	12	—
為替差損	138	71
支払手数料	138	—
営業外費用合計	289	71
経常利益	256,270	226,156
税金等調整前四半期純利益	256,270	226,156
法人税等	92,973	76,771
四半期純利益	163,297	149,384
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△2,215
親会社株主に帰属する四半期純利益	163,297	151,599

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	163,297	149,384
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,640	△2,310
その他の包括利益合計	△1,640	△2,310
四半期包括利益	161,657	147,074
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	161,657	149,225
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△2,151

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	256,270	226,156
減価償却費	4,239	4,046
のれん償却額	16,843	11,934
貸倒引当金の増減額(△は減少)	223	38
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,740	2,100
受取利息	△212	△138
支払利息	12	—
売上債権の増減額(△は増加)	△22,877	△89,368
たな卸資産の増減額(△は増加)	—	△291
前払費用の増減額(△は増加)	△17,434	9,586
仕入債務の増減額(△は減少)	12,138	53,139
その他	4,415	△25,568
小計	258,360	191,633
利息の受取額	212	138
利息の支払額	△12	—
法人税等の支払額	△119,076	△107,840
営業活動によるキャッシュ・フロー	139,483	83,932
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△2,020
無形固定資産の取得による支出	—	△4,063
敷金及び保証金の差入による支出	—	△2,274
定期預金の預入による支出	—	△299
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	△8,657
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	5,910	1,020
自己株式の取得による支出	△34,600	—
非支配株主からの払込みによる収入	—	6,772
配当金の支払額	—	△46,364
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,690	△38,571
現金及び現金同等物に係る換算差額	△582	△2,249
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	110,210	34,453
現金及び現金同等物の期首残高	1,084,998	1,448,095
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,195,209	1,482,549

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	成果報酬型 広告サービス 事業	検索連動型 広告代行業業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,460,407	209,391	3,669,799	11,257	3,681,056
計	3,460,407	209,391	3,669,799	11,257	3,681,056
セグメント利益	500,186	29,817	530,003	6,826	536,829

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、媒体運営事業、コンテンツ販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	成果報酬型 広告サービス 事業	検索連動型 広告代行業業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,984,494	267,137	4,251,632	18,739	4,270,371
計	3,984,494	267,137	4,251,632	18,739	4,270,371
セグメント利益	488,531	37,767	526,299	18,435	544,734

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、媒体運営事業、コンテンツ販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。